



奈良大宮ロータリークラブ Club Weekly Bulletin

発行日 2020年8月18日

2020-2021/5

Vol.42

No. 1967

2020-21年度 RIテーマ



RI会長 ホルガー・クナーク

地区スローガン

「ロータリーの原点に戻る」

誠意をもって語り合い、
勇気をもって共に未来へ

RI第2650地区ガバナー

松原 六郎

- 創立 : 1979年1月23日
- 例会 : 毎週火曜日 17:30~18:30
- 例会場 : 奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
- 事務所 : 奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
- 会長 : 多田 実 ■副会長 : 高野 治 ■幹事 : 水野 憲治

本日のお客様

- ・中谷 乃環 さん (ナカタニ ノア)
(2019-2020年度奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ 会長)
- ・中田 真由 さん (ナカタ マユ)
(2020-2021年度奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ 会長)
- ・神徳 圭二 様 (コウトク ケイジ)
(奈良女子大学附属中等教育学校 研究部主任・インターアクトクラブ 顧問)

会長の時間

多田会長



会長の時間、ちょっと考えてきたことあるんですけども今日はつまってますので、理事会の報告をしたいと思います。

理事会報告

第2回の理事会を本日、奈良ホテルで開催しました。

①奈良クラブとの合同例会10月15日に開催予定だったが人数の関係で中止となりました。10月13日(火曜日)に例会を変更することに

決まりました。

②インターシティミーティングは中止と決めまして、各クラブと地区の方へも報告しました。これまでの実行委員会を解散することを決議しました。インターシティミーティングは10月24日に開催予定だったんですが中止になりましたので、振替休日としておりました10月27日は例会を開催することに致しました。

③ガバナー公式訪問について理事会で原則的には9月29日、奈良東ロータリークラブと合同で開催すると予定しておりますが本日の例会終了後、奈良東ロータリークラブと会合を開き、合同で開催するかどうか協議致します。

例会プログラム

第5回8月4日

卓話

通算1967回

1. 握手・挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. お客様紹介
5. ビジター紹介
6. 会長の時間
(理事会報告)
7. 例会状況報告
8. 委員会報告
9. 幹事報告
10. 卓話
11. 閉会点鐘

例会状況報告

8月4日

通算1967回

- ◎本日出席者 61名
- ◎本日出席率 95.31%

7月21日

通算1965回の修正

- ◎出席率 98.41%
- ◎補填前欠席者 6名
- ◎欠席補填者 5名

財団奨学生の件・例会出席の件、新型ウィルスが蔓延してる状態でどういう基準で例会を休会にするのかという事を理事・委員の皆さまからのご意見を頂いて決めるという事に致しました。
あと、細かい所の詳細はあるんですけども議事録で報告いたしますので、よろしくお願い致します。

「ロータリーの友」の読みどころ

西村副委員長（会報・雑誌委員会）

横組み

①P 2 4 「ロータリー米山記念奨学事業の基礎知識」

奨学金種類・クラブカウンセラー制度についてまとめられていますので、理解を深めて頂ければと思います。

②P 1 8 ～ 「国際大会の記事」

今年はウェブ上での開催で初めての試みです。来年も、こういう形で参加になるかもしれません。ぜひ、ご一読を。

縦組み

③P 6 0 「埼玉県立所沢高校IAC認証状伝達式」

設立の時の会長の中島さんの挨拶文が載っております。インターアクトの方もお持ちでしたらお読みください。

委員会報告

植村委員長（奉仕プロジェクト常任委員会）

横断歩行者保護宣言事業所募集の件



前々回の例会で横断歩道の前では止まろうねという運動の件、皆さまに申請の方頼んでおりますが、まだ若干完全に集まっていないところもございます。何卒、ご賛同いただき申請の方をよろしくお願いしたいと思います。

担当は宮西委員長が集めてくれておりますので、そちらの方でよろしくお願い致します。尚、9月1日の例会で奈良県 奈良警察署 交通第一課課長の中谷様が卓話に来られますので、その折に認定書等をクラブの方全員に頂きたいと思っておりますので、どうぞご協力よろしくお願い致します。

中條実行委員長（IM実行委員会）

IM実行委員会解散の件



IMの実行委員をさせて頂いて10月24日予定しておりましたが、コロナの影響で中止という事を決定致しました。実行委員会も解散という事を理事会で決めて解散させて頂いてやれやれと思っておるんですが、これはずっとやらないかと来年もやらないかんといい形ですが健康やったらやりたいな、できたら代わってほしいなど思っておりますが、来年10月このまま引き継いで本当は奈良クラブになるんですが我々がこれは引継ぎしないといけないと決定しておりますので、また来年も皆さんの協力をお願いしたいと思います。中嶋次期会長の下でやれると思っておりますので、よろしくお願い致します。ありがとうございます。

幹事報告

水野幹事

- ①財団寄付金領収書・8月例会運営スケジュールを状差しに入れております。
8月18日・25日の例会出欠表へのご記入をお願い致します。
8月11日の例会は休会で次回例会は8月18日になります。ご注意ください。
- ②第一回家族親睦例会は9月に行われます。皆さまに郵送でご案内をさせていただきます。
8月18日に出欠のご確認を取らせて頂ければと思います。
- ③「40年の歩み」の冊子ができております。
昨年度の記録保存委員会の方で作成をして頂いておりましてホームページにも載せてますので、ご入用がありましたら事務局に言って頂ければこういう形で渡していきます。

卓話

講師プロフィール紹介
門脇前年度委員長（前年度青少年奉仕委員会）



皆さん、こんばんは。それでは卓話の講師のご紹介をさせていただきます。
奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ前年度会長 中谷乃環さん・今年度会長 中田真由さんです。
本日、奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブのご紹介ご報告をさせていただきますが、実は5月12日に卓話でこのような機会を予定しておりましたがコロナの関係上中止となり、本日開催することになりました。そういった関係上、前年度青少年担当の私の方から紹介させて頂いている所でございます。
少し奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブのエピソードをお知らせしたいと思います。前年度、地区の方で20のインターアクトクラブあるのですが、例会訪問と言いまして地区委員の方が各インターアクトクラブを見学に行こうという事でまわって来られ女子大の方へも来られました。11月16日にインターアクトの地区大会がございまして、その時にインターアクトの地区委員長の方から総括を頂きました。その総括で「奈良女子大学インターアクトクラブのメンバー立ってください。」と言われ何が起るのかなと思っておりましたら「彼女・彼等は素晴らしい。活発な例会で意見が飛び交って、また楽しそうである。」と「他のインタークラブもぜひ、彼女・彼等を招いて影響を受けて下さい。」とお褒めの言葉を頂きました。私も例会を見に行き、すごく活発で自分の思いをうまく主張・表現しプレゼン能力がすごく高く本当に感心した所でございます。ぜひ、会員の皆さまにもインターアクトの例会に見学に行きたいと思っております。毎月第2水曜、第4金曜に基本的に例会をやっております。メイキャップにもなります。ぜひ、本年度一度は見学に行ってくださいなと、ちょっとびっくりすると思うので行っていただきたいという事でございます。それでは谷前会長・中田今年度会長、よろしくお願い致します。

中谷 乃環 さん (ナカタニ ノア)
(2019-2020年度奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ会長)
中田 真由 さん (ナカタ マユ)
(2020-2021年度奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ会長)
「奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ・2019年の活動の軌跡」

今回の卓話は、奈良女子大学附属中等教育学校インターアクトクラブ前年度会長 中谷乃環さん・今年度会長 中田真由さんが「2019年の活動報告の軌跡」というテーマでお話をして下さいました。

中谷 乃環 さん
前年度会長 中谷乃環さんパート
『2019年の活動報告』について



①国際交流

いくつかの海外の高校と姉妹提携しており交流活動をしており、カナダ・トロントにあるリバーデール高校と韓国・釜山国際高校と交流。奈良市市内観光と文化紹介として茶道と書道体験をしました。

②市民ひろば なら小草

私たち行っているボランティアの1つで団体が市民ひろば なら小草という団体があり、奈良県に住んでいる中国にルーツを持った子供たちに勉強を教えています。ここに私たちが参加して毎週日曜日に活動しています。目的はお子さんによって状況は様々ですが中国人のお母さんとコミュニケーションがなかなか取れない、バイリンガルであるがために他の子供たちと同じように言語学習ができないという問題を抱えており、それを手助けするという事で日本語・中国語の勉強をしています。私たちは日本語の学校の宿題勉強などをお手伝いし、勉強を助けています。また、中国出身のお母さん方が春節の時期になれば料理を作ってくださって文化を体験するという事をしてしています。

③春日大社ガイド ボランティア

この活動は一条高校のインターアクトクラブさんと合同でやろうという事で昨年、インターアクトクラブが発足した当初から考えており、今年一月に初めて春日大社の方に行き春日大社はどういう場所などかという事を説明して頂き、もうボランティアをする手前だったのですがコロナウィルスの関係で活動することはできませんでした。今年度こそは英語ボランティアという事で、海外の人たちに向けて英語で春日大社を紹介することができたらと思っています。

④ディスカッション

私たちは例会の中で国際問題について理解を深めるために、まずメンバー全員でどうい問題について話し合いたいかを決めました。1年通して自分たちで研究を進めて行きたいと思い、今年私たちは『貧困問題』をテーマに選び活動を始めました。その中でもいくつかメンバーの中でやりたいことを教育・インフラ・食糧問題・経済構造の4つに分け、4つの視点から貧困問題解決や国際状況の理解を目指し、議論や勉強会を開いたりしていました。目標としては実際にその問題にアプローチする活動を見つけたり、本校は中学生もいるので勉強会や発表会を開いて、より理解を深めていくという活動をしたいと思っていますが、こちらはまだ何もしていない状況です。

⑤Asian Youth Forum(for Sustainable Future)

私たちのクラブは、これを一番の活動テーマにしています。これはアジアの高校生たちが集まり国際問題について考えるという会です。2019年度は台湾の高雄市で4月に開催されました。本校からは前年度の私、今年度の6年生から7名が参加しました。今年のテーマは『富の再分配』という事で各学校がプレゼンテーションを作りました。私たちがテーマに選んだのは『日本の生活保護制度』に焦点においてプレゼンテーションを作りました。4ヶ月にわたりプレゼンの準備をし、アフリカ子供たちの貧困・日本の貧困状況(税金と福祉)と色々な事を研究してきた中で、せっかく日本のことを紹介するという事なので国内の状況を説明しました。日本は先進国の中でも所得格差が極めて大きい国の一つなのですが、それが結構知られてなくて日本は豊かな国だと思っている海外の方が多く、AYFの参加国の中にはいわゆる発展途上国と言われる国の方も多く状況は全然違いますが、相対的な貧困に関してどういった解決策を取っていくのかという事について考えました。例えば日本は寄附習慣などがアメリカに比べ、根付いてなかったり北欧の国などに比べて行政がお金を出すという考え方が全然違ったりし、そういう国際比較に基づいて日本の制度の改革や新しい制度の提言を行いました。AYFではもう一つ行事があり、各国から集まった高校生たちで少人数のグループを作り3日間かけてグループごとにプレゼンテーションを作ります。今年、ホスト校である台湾の学校がフランスの『黄色いベスト運動』をテーマに選びました。この運動は2018年の11月からフランスで行われていた燃料税の引き上げに抗議する運動で所得格差を生むことに対する運動という事で、これに関して各グループをフランスの内閣だと仮定し、それぞれ経済・教育・医療制度・福祉・エネルギーという5つのテーマに沿い、一から政策を考える活動をしました。各国自分たちの国の状況、自分たち国で行われている政策に基づいてどういう所が優れているか、問題があるかを考えながらプレゼンテーションを行いました。

中田 真由 さん

今年度会長 中田真由さんパート

『去年の4年生、今年の5年生が去年行った活動の内容』について



①SEAMEO INNOTECH (フィリピン) 学校訪問 (7月12日)

私たちが昨年4年生になりインターアクトクラブに加入し、一番最初に行ったことは主に外国の学校や外国からの訪問者に向けて学校紹介や日本の文化や奈良の魅力の紹介をしました。フィリピンの学校に学校紹介や日本の文化や奈良の伝統的な奈良の町に関するクイズの動画などを送ったり、フィリピンの教育機関の方からこの学校の教育についてワークショップに来られた方がいらっしゃった時に学校紹介、この学校の教育についてのワークショップを行いました。また、さくらサイエンスキャンプというものが毎年9月に行われているのですが、その場で他国の学校に向かって学校の紹介などを行ったりしました。

② インターアクト 夏季研修@カンボジア (8月1日～6日)

後藤美海さんと沼田美空さんが参加しました。主な内容は地雷処理の見学・体験、孤児院の訪問でした。地雷処理の様子ですが右側の写真の赤でマークされているのが地雷で、このようなものがカンボジアでは600万個地面に埋まっているそうです。そして右側の写真が地雷の爆発の写真です。カンボジアの研修に行った彼女たちは、地雷処理に携わる高山さんというボランティアの方にお話を伺いました。高山さんはもともと自衛隊の隊員として派遣先で訪れたカンボジアで地雷などの現状を目にし、問題意識を感じ自衛官を退官後、わずか3日の間にカンボジアへの渡航を決められたそうです。カンボジアにわたってからは村や地元を盛り上げるため特産品のお酒を販売したり、カンボジアでの貧困を解決するため次世代の子供たちにコンピューターの技術や日本語などを教える教室を開いているそうです。

次に研修で訪れたノリア孤児院の様子です。子供たちが沢山集まって勉強している様子が伺えます。ノリア孤児院を運営している岩田さんという方にもお話を伺いました。岩田さんは元客室乗務員でずっとカンボジアでの貧困問題や孤児の問題を解決したいという意識を持たれており、客室乗務員を引退した後カンボジアに渡りました。カンボジアでは凄く貧困が問題になっており生活環境がとても悪いので、まず教育の前にインフラを整えるための水質浄化や稲作を始めました。また、孤児院を運営後、孤児院を卒業した子供たちが自立できるようにカフェをオープンされました。Hoop of Children (ホープオブチルドレン) というカフェですが、このカフェで出す料理は全て野菜・材料から作り子供たちが自立していける支援を行うカフェだそうです。この下の写真がそのカフェで出されている料理です。参加した2人がこの夏季研修を通し学んだことは、カンボジアは発展途上国でなかなか不幸な子が多い、清潔な環境ではないとかマイナスイメージばかりを持っている人が多いですが実際に行ってみると、全然違った場所で開発しきっていない場所であるからこそゆったりとした時間が流れていて、そこに生活している子供たち、みんなが自然と幸せに暮らしていけるような素敵環境だったという事です。

また、高山さんや岩田さんのお話を聞いて日本ではまだまだ直接的な支援、実際に現地へ行っての支援が足りていないという事を感じました。金銭的な支援を行ってもその国が自立できるわけではないので、もっと根本的な所を解決していくべきだと考えました。また、金銭的な豊かさと幸せは比例しない。訪れた孤児院にいた子供たちも、町で暮らす人たちも金銭的には余裕がないかもしれないけれど、幸せそうにしていたそうで幸福とは生きる事、そして大切な人と暮らせることだという事を実感したそうです。

最後に支援の本質ですが、先ほども述べましたが金銭的な支援だけが支援ではなく、実際に現地に行って人と触れ合い現状を知り根本的に解決していく。その国が自立していくよう共に成長していくことこそが支援なのだと言えそうです。

③ タイ ダムロン高校からの訪問 (10月15日)

タイ ダムロン高校からの訪問者の講演会に参加しました。訪問者はダムロン高校に通う学生2名とダムロン高校でボランティアとして教鞭をとったり、少数派の民族の子供たちにタイ語を教えている原田義之さんでした。内容は原田義之さんの講演と学生2名のタイの伝統舞踊の披露でした。私はこの訪問に参加させて頂いて原田さんの講演がとても心に残ったので少し紹介させて頂きます。原田さんがボランティアを始めるまでという所を、まずお話をしたいと思います。46歳の時仕事でタイを訪れ、訪れたホテルで子供たちへ図書寄贈をしているニュースを見たそうです。そのニュースに映っている子供たちはその図書を手にし、とても喜んでくれるようで感銘を受け原田さんはタイの学校へ図書支援を開始しました。10年ほど図書支援を行った後、その図書支援を行った北タイの小学校でその小学校で教鞭をとっていたタイ人の先生から聞き、アカ族という少数民族について知ったそうです。そして、アカ族はタイ北部の山岳民族で日常ではアカ語というものを使っています。母国語はタイに住んでいるのでタイ語ですが識字率が非常に低い民族で、識字というのは自国の母国語が使える事、つまりタイに住んでいたならタイ語が使えるという事なので、日常でアカ語を使っているアカ族は学校でタイ語の教育を受けなければ識字率が0という事になってしまいます。しかし、学校でタイ語を学ばなければいけないのに、アカ族はとても貧しく就学機会が得られない子供がとても多く、将来教育を受けられず麻薬の運び屋や売春など、凄く暗い道に進んでしまう子供が多いという問題を抱えた民族です。その実態に危機感を感じた原田さんは独学でタイ語を習得し、北タイに渡ってアカ族の子供たちにタイ語を教えることを決意したそうです。しかし、タイ語を教えるにあたってまず問題になったのは、生活環境が問題になったそうです。タイ語を教える以前にデング熱等、感染症など命の危機が及ぶような生活環境

だったそうで、 Dengue 熱の対策や学習環境の改善、学校の雨漏りの修繕などを行ったそうです。また、ダムロン高校で教鞭をとるようになってからはダムロン高校の生徒が日本で日本語を学べるよう、日本への留学を支援なさっていました。そのタイの生徒と原田さんの訪問の感想をお伝えしたいと思います。私は今まで日本は多民族国家でないのというような多民族国家で起こる問題について全く知りませんでした。カンボジアという貧困などのイメージが目立ち、識字率という所にその原因が隠されている事を全く知らなかったの、そういう面についてはとても勉強になりました。また、原田さんがおっしゃっていた言葉で「支援や奉仕というのは、してあげるものではなく私たちが問題意識をもってして行かなければならないものだ。」という事を学びました。その話を受けた後、私ともう一人この訪問の会に参加させて頂いた先輩で「ぜひ、この子供たちに衣服の支援をしたい。」と言ったとき原田さんがおっしゃったのですが、「私たち日本人は簡単に服が手に入らない物もすぐに捨てる事ができる。だから、タイの子供たちに衣服を提供したとき、服をいらない物だとして提供してしまうかもしれない。」と、「しかし、極貧の子供たちからしたらその提供された服はとても大切な一枚で、その子供たちは一年間のうち一枚新しい服を手に入れられたら良い程度で、その服をずっと大切に使うものだ。だから、私たちはいらない物をあげるという目線ではなく、その子供たちに提供したい、使ってもらいたい。という意識でボランティアに励んで欲しい。」と言われ本当にその通りだと、心の持ち方一つで支援の意味というものはとても変わるんだなと感じました。

④ 新年度の計画と目標

春日大社でのボランティアやタイの子供たちへの衣服の支援、原田さんの講演会等を企画していましたが、コロナウィルスの影響で実施できなくなってしまったので去年実施できなかった事を再計画し、行えるようにしていきたいと思っております。また、このコロナウィルスの時期だからこそ行える活動を積極的に考え取り組んでいきたいと思っておりますし、なら小草のボランティアは継続していこうと思っております。最後に、まだ今年の高校1年生の4年生がインターアクトクラブにコロナウィルスの影響で加入することができていないので、ディスカッションや勉強会等を開いてインターアクトクラブの存在をもっと後輩に知ってもらい、このクラブにどんどん入ってもらいながら、これからもクラブをもっと盛り上げていくということを目指して活動していきたいと思っております。

会長謝辞

多田会長

あまりに素晴らしくて感動しているんですが、国際交流・ボランティア活動等と内容的に素晴らしい。私たちロータリアンはもっと見習わないといかんのかなという気がしております。これからのインターアクトクラブの活躍を期待しておりますので、どうぞよろしくお願い致します。どうも、ありがとうございました。

多田 実 君 インターアクトクラブ顧問神徳圭二先生、2019-20年度インターアクトクラブ会長中谷乃環さん、2020-21年度インターアクトクラブ会長中田真由さん、新型コロナウイルス感染症が蔓延している中、奈良大宮ロータリークラブの例会に出席して頂き、誠に有り難う御座います。本日の「インターアクトクラブ2019年の活動の軌跡」の卓話、楽しみにしておりますので、宜しくお願ひ致します。

鈴木 譲 君 中谷前年度会長、中田会長、本日の卓話よろしくお願ひします。
藤井正勝 君 神徳先生、本日はありがとうございます。また、IACの中谷さん、中田さん、宜しくお願ひします。

宮西正伸 君 インターアクトの皆様、本日は有り難うございます。
武藤廣茂 君 本日、お陰様で73才の誕生日を迎える事が出来ました。廻りの人からは、もうあんまり期待されてないから...と云われていますが、念願のエージェンメント達成に一歩近づけたと、前向きに考えています。今後共よろしくお願ひします。

ニコニコ協力 岡崎真人 君 倉田智史 君 郡 史朗 君 城田真平 君
中奥雅巳 君 西本隆一 君 野崎隆男 君 野末勝宏 君
南谷正仁 君 宮坂勝紀 君 森山斗福 君 森山憲克 君
矢追家麻呂君

◆例会変更・休会のお知らせ◆

〈大和郡山ロータリークラブ〉
8月24日（月）定款第7条第1節dの(3)による休会
8月31日（月）定款第7条第1節dの(3)による休会
※いずれもビジター受付は行いません。

〈奈良東ロータリークラブ〉
9月中の全例会 定款第7条第1節dによる休会
※ビジター受付は行いません。

〈やまとまほろばロータリークラブ〉
8月20日（木）例会場所変更（あるぼーる）
8月27日（木）例会場所変更（あるぼーる）
9月3日（木）例会場所変更（あるぼーる）
※いずれもビジター受付は行いません。

今後の予定

8月25日 卓話：辻本幸則 会員・林勝利氏 会員
「新入会員卓話」
9月1日 卓話：中谷貴志 様
奈良警察署 交通第一課 課長